

「心に残る文化財こども塾」 学習指導案

日 時 令和元年5月30日(木)
9:20～12:20
場 所 松江市立古江小学校 多目的室
対 象 古江小学校6年生児童40名
指導者 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター職員2名
古江小学校6年生担任2名

1 主 題 ふるさとの歴史を学ぼう ～鏡作りに挑戦～

2 ねらい

- ・ 身近な地元の遺跡や歴史について学習することを通して、ふるさとの歴史に対する興味や関心を高める。
- ・ 金属鏡作りを体験することで、古代の人々の生活の様子や技術などについて考えることができるようにする。

3 展 開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	担当
9:20～9:25	1 オリエンテーション及び講師紹介	・見通しをもって学習できるように、学習の流れと講師の紹介をする。	担任
9:25～ 10:00	2 地元の歴史を学ぼう	・歴史学習への興味をもてるよう、身近なところにも遺跡があることをしめす。 ・古代人の生活を想像できるよう、見たり触ったりできる遺物や、写真などを準備する。	埋文センター職員
10:00～ 10:10	3 古代の鏡について知る	・鑄造体験への意欲を持てるよう、古代の鏡はどのようなもので、どのような役割があったか知らせる。	埋文センター職員
	(体験活動の準備・休憩)		
10:20～ 12:00	4 金属鏡をつくろう ・鏡作りの説明 ・鏡作り体験	・作業は、7班編成。 ・安全面に十分に注意する。 (特に、湯を鑄型に入れる時と鑄型から切り離す時)	埋文センター職員 担任
	(片付け・休憩)		
12:05～ 12:20	5 学習のまとめ ・感想発表 ・記念撮影	・アンケート用紙の記入 (時間があれば)	担任

4 準備物

(学校・児童) パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、カメラ、長机
筆記用具、軍手、新聞紙、絵の具バケツ、タオル

(埋文センター) 遺物、提示資料、鏡材料、鏡、鑄型、カセットコンロ、ガス、粘土板、ヤスリ、ニッパー、ピカール、布、ビニール袋、鏡作り説明書、アンケート用紙、白布、カメラ、鍋、板、筆、紙ヤスリ、輪ゴム